

総括編

第1章 沿革

1 小児医療センター建設までの経緯

昭和40年代に入ると、本県は急激な人口増加に伴い、毎年高い出生率が続き、次第に人口構造も変化してきた。一方、公衆衛生の向上や医学及び医療技術の進歩に伴い、疾病構造も次第に変化をみせはじめ、特に、小児の疾病構造については、従来比較的多かった感染症が減少し、未熟児、病的新生児、悪性新生物、先天性代謝異常、アレルギー等の割合が増加する傾向となった。このため、本県でも小児のための特殊、専門の医療機関の必要性が高まってきた。

| | |
|----------|---|
| 昭和48年 6月 | 「小児医療研究会」に対し、埼玉県における「小児特殊医療対策調査」を委託 |
| 11月 | 県の中期計画に小児医療センター建設の施策を盛り込む。 |
| 昭和49年 3月 | 「小児医療研究会」から、小児専門の医療施設の必要性が大きいとの報告を受ける。 |
| 昭和53年 4月 | 衛生部内に小児医療センター準備室を設置 |
| 8月 | 小児医療センター検討委員会を設置 |
| 昭和54年 3月 | 小児医療センター建設委員会を設置 |
| 6月 | 小児医療センター建設設備専門委員会を設置 |
| 昭和55年 8月 | 小児医療センター起工式挙行、建設工事着工 |
| 昭和57年 3月 | 職員公舎建設工事着工 |
| 4月 | 衛生部内に小児医療センター準備事務所を設置 |
| 8月 | 小児医療センター本館完成 |
| 12月 | 埼玉県病院事業設置等に関する条例の一部改正において埼玉県立小児医療センターの設置を決定（12月定例県議会議決、昭和58年4月1日施行） |
| 昭和58年 2月 | 病院開設許可 |
| | 職員公舎建物完成（8棟 136戸） |
| 3月 | 小児医療センター竣工式挙行 |

2 小児医療センター開院から今日まで

| | |
|-------------|----------------------------|
| 昭和58年 4月 1日 | 埼玉県立小児医療センターオープン（病床数 189床） |
| | 保険医療機関の指定 |
| | 国民健康保険療養取扱機関の指定 |
| | 生活保護指定医療機関の指定 |
| | 母子保健指定養育医療機関の指定 |
| | 結核予防法指定医療機関の指定 |
| 昭和58年 5月12日 | 身体障害者指定更生医療機関の指定 |
| 昭和59年 4月 1日 | 病床数 250床に増床 |
| 昭和60年 4月 1日 | 病床数 300床に増床 |
| 4月20日 | 職員公舎 I 棟完成（45戸） |
| 昭和61年10月 1日 | 未熟児新生児搬送車設置導入 |
| 昭和63年 6月30日 | ケースワーカー相談室設置 |
| 平成 2年 3月 1日 | 予約専用電話設置 |
| 3月31日 | 医療ガス機械室増設 |
| | 地盤沈下復旧対策工事（南側） |
| 平成 3年 3月31日 | RI焼却棟増築工事 |
| | 地盤沈下復旧対策工事（北側） |

| | |
|-------------|---|
| 平成4年3月31日 | MR棟増設工事完了、引受 |
| 平成5年3月31日 | 外来部門等改修工事完了、引受 |
| 5月14日 | 天皇・皇后両陛下御視察 |
| 9月11日 | 10周年記念式典挙行 |
| 平成6年3月31日 | 看護実習棟増設工事完了、引受 |
| 平成7年3月31日 | 空調設備外改修工事完了、引受（未熟児新生児病棟及び重症病室系統等） |
| 平成8年3月31日 | 空調設備外改修工事完了、引受（ACU-1系統等） |
| 平成10年3月31日 | 附属大宮保健センター機能移転 |
| 4月1日 | 保健発達棟オープン |
| 10月1日 | 地域医療支援病院名称承認 |
| 平成12年3月31日 | 厨房改修工事完了、引受 |
| 4月1日 | 小児医療センター医療情報システム本稼働 |
| 平成13年3月30日 | 臨床研修指定病院の指定 |
| 平成14年3月26日 | 救急室改修工事完了、引受 |
| 6月3日 | 小児救急支援事業開始 |
| 9月20日 | 時間外診療対応改修工事完了、引受 |
| 平成15年3月10日 | 慢性疾患児家族宿泊施設整備工事完了、引受 |
| 4月1日 | 慢性疾患児家族宿泊施設オープン |
| 9月27日 | 20周年記念式典挙行 |
| 平成16年2月15日 | |
| ～2月17日 | （財）日本医療機能評価機構による病院機能評価を受診 |
| 3月8日 | 小児救急遠隔医療システム運用開始 |
| 5月17日 | （財）日本医療機能評価機構による病院機能評価の認定 （認定期間：平成16年5月17日～平成21年5月16日） |
| 11月30日 | MR I 更新 |
| 平成19年3月31日 | E S C O事業工事完了による、熱源機器等の引受 |
| 4月1日 | E S C O事業省エネルギーサービス開始 |
| 平成21年2月18日 | |
| ～2月20日 | （財）日本医療機能評価機構による病院機能評価を受審 |
| 4月1日 | 院内保育施設（かりよん保育園）オープン（慣らし保育は、3月スタート） |
| 6月5日 | （財）日本医療機能評価機構による病院機能評価(Ver. 5.0)の認定 （認定期間：平成21年5月17日～平成26年5月16日） |
| 平成22年2月10日 | 小児医療センター機能検討委員会の設置 |
| 平成22年3月8日 | 保険医療機関の指定期間満了に伴う指定更新手続き |
| 平成22年4月1日 | 地域周産期母子医療センターの認定 |
| 平成23年1月28日 | 未熟児新生児病棟改修工事完了、引渡 |
| 平成23年6月2日 | 「さいたま新都心第8-1A街区について」知事記者会見 |
| 平成23年11月29日 | 埼玉県立小児医療センター施設整備検討委員会の設置 |
| 平成24年3月 | 埼玉県立小児医療センター整備基本計画を策定 |
| 平成24年7月11日 | 埼玉県立小児医療センター施設整備設計業務の契約締結 |
| 平成24年3月31日 | E S C O事業省エネルギーサービス終了 |
| 4月1日 | E S C O事業設備自主運用開始 |
| 平成25年2月8日 | 小児がん拠点病院の指定（指定期間：平成25年2月8日～平成29年2月7日） |

| | |
|-------------|---|
| 4月1日 | 地域連携・相談支援センターの設置 |
| 9月22日 | 30周年記念式典挙行 |
| 9月24日 | 電子カルテシステム稼働開始 |
| 平成25年12月27日 | 埼玉県立小児医療センター新病院建設工事の契約締結 |
| 平成26年2月16日 | 新都心にて新病院建設工事着工 |
| 4月1日 | D P C 運用開始 |
| 平成28年10月15日 | 小児医療センター新病院、さいたま赤十字病院新病院 合同完成記念式典 |
| 平成28年11月27日 | 新病院開院リハーサル (第1回) |
| 平成28年12月10日 | 新病院開院リハーサル (第2回) |
| 平成28年12月27日 | 旧病院から新病院へ機能移転 (引越し) 埼玉県立小児医療センター新病院オープン (病床数 316床) 救急病院として告示される |
| 平成29年1月1日 | 小児救命救急センターの指定 総合周産期母子医療センターの指定 |
| 平成29年1月3日 | 新病院開院リハーサル (第3回) |
| 平成29年1月5日 | 新病院で外来診療開始 |
| 平成29年1月10日 | 旧病院は岩槻診療所として新たにオープン |
| 平成29年1月23日 | 小児がん拠点病院の指定更新 (指定期間: 平成29年2月8日～平成31年3月31日) |
| 平成29年3月9日 | 岩槻診療所保健発達棟の改修工事着工 |
| 平成29年4月27日 | 第11回三県知事会議 (小児医療センター・さいたま赤十字病院を視察) |
| 平成30年1月29日 | 岩槻診療所保健発達棟の改修工事が完成 |
| 平成30年1月31日 | 社会福祉法人桜楓会 (カリヨンの杜) と保健発達棟の使用貸借契約を締結 |
| 平成30年3月23日 | 岩槻診療所での診療行為が終了 |
| 平成30年3月31日 | 岩槻診療所の閉所 |
| 平成31年1月1日 | 埼玉県災害拠点病院の指定 |
| 平成31年2月6日 | |
| ～2月7日 | (財)日本医療機能評価機構による病院機能評価を受審 |
| 平成31年2月14日 | 小児がん拠点病院の指定更新 (平成31年4月1日～令和5年3月31日) |
| 4月1日 | がんゲノム医療連携病院の指定 移植センター、小児がんセンター、T Q M 推進室、感染管理室の設置 埼玉県移行期医療支援センターの設置 |
| 令和元年5月10日 | (財)日本医療機能評価機構による病院機能評価 (3rdG:Ver2.0) の認定 (認定期間: 2019年5月10日～2024年5月9日) |
| 令和2年3月5日 | I S O 1 5 1 8 9 の認定 |

3 医療法に定める届出承認事項

| | |
|------------|-----------------------------------|
| 昭和58年4月1日 | 診療所開設許可 (付属大宮小児保健センター) |
| 4月7日 | 放射性同位元素及び放射線発生装置の使用許可 |
| 昭和59年3月5日 | 病院開設許可届出事項一部変更許可 (昭和59年4月増床分、61床) |
| 3月28日 | 病院使用許可 (昭和59年4月増床分、61床) |
| 昭和60年3月12日 | 病院開設許可届出事項一部変更許可 (昭和60年4月増床分、50床) |
| 3月27日 | 病院使用許可 (昭和60年4月増床分、50床) |
| 昭和62年2月13日 | 放射性同位元素等の許可使用に係る変更許可 (骨塩分析装置の設置) |

| | |
|------------|--|
| 12月2日 | 病院開設許可事項一部変更許可(66室300床を68室300床に、便所、汚物処理室等改修) |
| 平成元年3月30日 | 病院使用許可(養護第一病棟及び養護第二病棟6室20床、便所、汚物処理室等改修) |
| 平成3年3月14日 | 放射性同位元素等の許可使用に係る変更の許可(有機廃液焼却棟の移築、許可使用量変更) |
| 3月30日 | 病院使用許可(有機廃液焼却棟移築) |
| 平成4年3月4日 | 病院開設許可事項一部変更許可(MR棟増設) |
| 3月21日 | 病院使用許可(MR棟増設) |
| 11月13日 | 病院開設許可事項一部変更許可(68室300床を69室300床に、外来診察室等改修) |
| 平成5年3月29日 | 病院使用許可(救急病室6室新設、養護第一及び第二病棟6床減少、外来診察室等改修) |
| 9月14日 | 病院開設許可事項一部変更許可(リニアック装置の更新) |
| 10月6日 | 病院開設許可事項一部変更許可(69室300床を68室300床に、循環器病棟改修) |
| 10月21日 | 病院使用許可(69室300床を68室300床に、循環器病棟改修) |
| 12月16日 | 放射性同位元素等の許可使用に係る変更許可(リニアック装置の更新) |
| 平成6年2月14日 | 病院使用許可(リニアック装置の更新) |
| 4月15日 | 病院開設許可事項一部変更許可(薬剤部門改修) |
| 4月21日 | 病院使用許可(薬剤部門改修) |
| 12月13日 | 病院開設許可事項一部変更許可(1A・1B病棟プレイルーム、面会指導室を作業療法室に変更) |
| 平成7年1月5日 | 病院使用許可(1A・1B病棟プレイルーム、面会指導室を作業療法に変更) |
| 3月9日 | 病院開設許可事項一部変更許可(放射線部第1撮影室、第8検査室のX線装置の変更) |
| 3月29日 | 病院使用許可(放射線部第1撮影室、第8検査室のX線装置の変更) |
| 平成8年1月16日 | 病院開設許可事項一部変更許可(診療用エックス線装置の更新(血管撮影室)、血管撮影室の構造の変更) |
| 平成9年2月3日 | 病院開設許可事項一部変更許可(内科診察室及び内科処置室の概要の変更) |
| 2月12日 | 病院使用許可(内科診察室及び内科処置室の概要の変更) |
| | 病院開設許可事項一部変更許可(CT撮影室及びCT装置の構造の変更) |
| 3月25日 | 病院使用許可(CT撮影室及びCT装置の構造の変更) |
| 9月1日 | 病院開設許可事項一部変更許可及び使用許可(耳鼻咽喉科・リハビリ診察室の移転) |
| 11月18日 | 病院開設許可事項一部変更許可(保健発達棟・図書室・輸血室・耳鼻咽喉科) |
| 11月27日 | 病院使用許可(耳鼻咽喉科診察室の改修) |
| 平成10年3月12日 | 病院使用許可(本館・第2病歴室・視能訓練室・生理検査室・輸血室) |
| 6月12日 | 病院開設許可事項一部変更許可(X線装置更新等) |
| 6月19日 | 病院使用許可(X線装置更新等) |
| 6月30日 | 病院開設許可事項一部変更許可(幼児学童第一病棟改修) |
| 7月6日 | 病院使用許可(幼児学童第一病棟改修) |
| 7月21日 | 病院開設事項一部変更許可(内科第一病棟2床増、幼児学童第一病棟2床減) |
| 7月28日 | 病院使用許可(内科第一病棟2床増、幼児学童第一病棟2床減) |
| 12月7日 | 病院開設事項一部変更許可(給食施設改修) |
| 平成12年1月4日 | 病院開設事項一部変更許可(仮設厨房) |
| 1月21日 | 病院使用許可(仮設厨房) |
| 3月29日 | 病院開設許可事項一部変更許可(給食施設) |
| 4月13日 | 病院使用許可(給食施設) |

| | |
|------------|---|
| 7月14日 | 病院開設許可事項一部変更許可（建物構造概要及び各病室の病床数の変更） |
| 8月18日 | 病院使用許可（建物構造概要及び各病室の病床数の変更） |
| 12月25日 | 病院開設事項一部変更許可（外科第一病棟3床増、外科第二病棟3床増、幼児学童第一病棟2床減、幼児学童第二病棟4床減） |
| 平成13年1月4日 | 病院使用許可（外科第一病棟3床増、外科第二病棟3床増、幼児学童第一病棟2床減、幼児学童第二病棟4床減） |
| 平成14年2月13日 | 病院開設許可事項一部変更許可（建物の構造に係る変更） |
| | 病院開設許可事項一部変更許可（診療用X線装置の入替） |
| 4月10日 | 病院使用許可（診療用X線装置） |
| 4月12日 | 病院開設許可事項一部変更許可（救急室等の用途変更） |
| | 病院使用許可（特診室B、視能訓練室、患者使用廊下、ME機器置場） |
| 6月6日 | 病院開設許可事項一部変更許可（幼児学童第一病棟5床減、幼児学童第二病棟3床増、未熟児新生児病棟2床増） |
| 8月23日 | 病院使用許可（幼児学童第一病棟4床減、幼児学童第二病棟2床増、未熟児新生児病棟2床増） |
| 9月18日 | 病院使用許可（幼児学童第一病棟1床減、幼児学童第二病棟1床増） |
| 11月27日 | 病院開設許可事項一部変更許可（保健発達棟生活指導室等の用途変更） |
| 11月29日 | 病院使用許可（保健発達棟診察室6） |
| 4月10日 | 病院開設許可事項一部変更届（診療科名の変更 内科→小児科、外科→小児外科、歯科→小児歯科） |
| 8月12日 | 病床種別届（その他病床300床 → 一般病床300床） |
| 8月13日 | 病院使用許可（一般病床300床） |
| 9月28日 | 病院開設許可事項一部変更許可（相談者→相談室・特診室C、視能訓練室→在宅支援相談室、在宅支援ステーション→診断室7） |
| 平成17年3月30日 | 病院使用許可（相談室・特診室C、診察室7） |
| 11月22日 | 病院開設許可事項一部変更許可（手術室における据置型X装置の廃止と移動型X線装置の設置、移動型X線装置の更新（2台）、手術室内操作室→器材室、手術室内暗室→器材室） |
| 12月19日 | 病院使用許可（移動型X線装置 2台） |
| 12月28日 | 病院使用許可（手術室内移動型X線装置） |
| 12月18日 | 病院開設許可事項一部変更許可（第8検査室→第8撮影室への変更及びX線TV装置第7撮影室のX線TV装置の撤去及び処置室兼待機回復室への変更） |
| 平成19年1月29日 | 病院開設許可事項一部変更許可（歯科用X線撮影装置の更新） |
| 2月8日 | 病院使用許可（第8撮影室、X線TV装置、歯科用X線撮影装置） |
| 3月6日 | 病院開設許可事項一部変更許可（循環器病棟の検査室→作業室、外科第一病棟の看護師室の拡張、医師室の移設、内科第二病棟へのプレイルームの設置） |
| 3月28日 | 病院使用許可（放射線技術部処置室兼待機回復室、循環器病棟検査室） |
| 平成20年1月6日 | 病院開設許可事項一部変更許可（外来皮膚科診療室、外来歯科診療室、在宅支援相談室、幼児学童第一病棟、幼児学童第二病棟の浴室改修、歯科用X線撮影装置の移設） |
| 2月15日 | 病院開設許可事項一部変更許可（手術室に隣接する作業室を倉庫へ変更、講堂内に会議室を設置、X線骨密度測定装置の更新） |
| 3月18日 | 病院使用許可（X線骨密度測定装置） |
| | 病院開設許可事項一部変更許可（移動型X線撮影装置の設置） |

| | |
|------------|---|
| 4月18日 | 病院使用許可（移動型X線撮影装置） |
| 2月6日 | 病院開設許可事項一部変更許可（CT装置の更新） |
| 2月13日 | 病院使用許可（CT装置） |
| 4月8日 | 病院開設許可事項一部変更許可（講堂内にコンビニエンスストアを設置） |
| 5月21日 | 病院開設許可事項一部変更許可（看護実習棟内への発熱外来の設置） |
| 5月25日 | 病院使用許可（発熱外来） |
| 7月17日 | 病院開設許可事項一部変更許可（発熱外来を廃止し、看護実習棟に戻す） |
| 10月2日 | 病院開設許可事項一部変更許可（内科第一病棟の器材室の縮小、内科第二病棟の看護師室改修） |
| 10月21日 | 病院開設許可事項一部変更許可（第1撮影室、第3撮影室、第5撮影室のX線装置の更新に伴う配置換え） |
| 12月10日 | 病院使用許可（第3撮影室、第5撮影室のX線装置） |
| 12月28日 | 病院開設許可事項一部変更許可（形成外科診察室の改修、幼児学童第一病棟の部屋番号変更） |
| 平成22年1月15日 | 病院使用許可（形成外科診察室） 病院開設許可事項一部変更許可（未熟児新生児病棟の改修） |
| 1月22日 | 病院開設許可事項一部変更許可（薬剤部の改修工事に伴う調剤室、冷暗室、湿性製剤室、陰圧調整室のレイアウトの変更） |
| 2月1日 | 病院使用許可（薬剤部の調剤室、冷暗室、湿性製剤室、陰圧調整室） |
| 4月1日 | 病院開設届出事項変更届出（管理者の住所及び氏名の変更） |
| 4月1日 | 病院開設許可届出事項変更届出（診療科名の変更） |
| 5月25日 | 病院開設許可事項一部変更許可（本館4階副病院長室の改修、保健発達棟2階部長室→副病院長室） |
| 8月31日 | 病院開設許可事項一部変更許可（本館1階当直室（1）→清掃員控室） |
| 9月15日 | 病院開設許可事項一部変更許可（未熟児新生児病棟の改修） |
| 11月1日 | 病院開設許可事項一部変更許可（4階空き部屋→医員室1） |
| 平成23年1月6日 | 病院開設許可事項一部変更許可（本館2階手術室の改修） |
| 1月26日 | 病院開設許可事項一部変更許可（循環器用X線装置、汎用循環器用X線診断装置の廃止及び循環器系X線診断装置の設置） |
| 3月11日 | 病院使用許可（循環器系X線診断装置の設置） |
| 8月17日 | 病院開設許可事項一部変更許可（X線発生装置の更新） |
| 10月27日 | 病院使用許可（X線発生装置の更新） |
| 12月26日 | 病院開設許可事項一部変更許可（第1、3、5撮影室、第6検査室、処置室兼待機回復室の扉の変更） |
| 平成24年1月4日 | 病院使用許可（第1、3、5撮影室、第6検査室、処置室兼待機回復室の扉の変更） |
| 3月29日 | 病院開設許可事項一部変更許可（看護部長室を副病院長兼看護部長室に名称変更） |
| 7月13日 | 病院開設許可事項一部変更許可（代謝異常検査室内に検査機器用の部屋を設置） |
| 8月16日 | 病院使用許可（代謝異常検査室内に検査機器用の部屋を設置） |
| 平成25年1月24日 | 病院開設許可事項一部変更許可（3階病棟用・手術室用X線発生装置の更新） |
| 2月1日 | 病院開設許可事項一部変更許可（医員室2、3、5、6の改修、湯沸室の改修、湯沸室を更衣室に名称変更） |
| 2月26日 | 病院使用許可（3階病棟用・手術室用X線発生装置の更新） |
| 10月17日 | 病院開設許可事項一部変更許可（循環器病棟の改修、機材室→点滴準備室） |
| 11月22日 | 病院開設許可事項一部変更許可（X線撮影装置の更新） |
| 12月20日 | 病院使用許可（X線撮影装置の更新） |

| | |
|-------------|--|
| 12月27日 | 病院開設許可（新病院の開設） |
| 平成26年3月11日 | 病院開設許可事項一部変更許可（医局→部長室、新部長室の改修、払出しコーナー拡張、払出しコーナー→医局・更衣室、部長室2と3の間・部長室3と5の間・部長室6と7の間・部長室7と8の間のパーテーションを撤去） |
| 5月13日 | 病院開設許可事項一部変更許可（放射線技術部機械室の改修） |
| 6月11日 | 病院開設許可事項一部変更許可（倉庫及び講堂の改修） |
| 平成27年2月5日 | 病院開設許可事項一部変更許可（写真室・メディア工房・暗室の改修） |
| 2月18日 | 病院開設許可事項一部変更許可（リネン作業室をディスプレイ製品作業室、副病院長室を部長室、部長室を治験管理室に名称変更） |
| 4月1日 | 病院開設届出事項変更届（管理所の住所及び氏名の変更） |
| 平成28年11月30日 | 病院開設許可事項変更許可（食堂棟を旧病院棟から除外） |
| 12月8日 | 診療所開設許可（岩槻診療所の開設許可） |
| 12月22日 | 病院使用許可（新病院の使用許可） |
| 12月27日 | 病院使用許可（診療用X線装置設置） |
| 12月27日 | 病院開設届出事項変更届（診療科目の追加） |
| 平成29年1月4日 | 診療所開設許可事項変更許可（岩槻診療所の施設拡充） |
| | 病院使用許可（診療用X線装置設置） |
| 1月10日 | 病院使用許可（診療用X線装置設置） |
| 1月20日 | 病院使用許可（診療用X線装置設置） |
| 4月1日 | 病院開設届出事項変更届（管理者の住所及び氏名の変更） |
| 10月11日 | 病院開設許可事項変更許可（移動型エックス線装置の更新） |
| 10月18日 | 病院使用許可（移動型エックス線装置の使用） |
| 12月26日 | 病院開設許可届出事項変更届出（診療科名の変更） |
| 平成30年1月5日 | 病院開設許可事項変更許可（手術室を手術室・分娩室に変更） |
| 1月11日 | 病院使用許可（手術室・分娩室、沐浴室） |
| 1月23日 | 病院開設許可事項変更許可（臨床研究室・動物実験管理室を臨床研究室に名称変更） |
| 3月9日 | 病院開設許可事項変更許可（HCUの陰圧室14及び15に前室を設置、トイレを汚物処理室に変更、HCU入口の引き戸に窓を設置、HCU入口のカウンターに小窓付きの亚克力板を設置） |
| 3月31日 | 診療所廃止届（岩槻診療所の閉院） |
| 平成31年1月25日 | 病院開設許可事項変更許可（臨床研究室に間仕切り設置） |
| 4月1日 | 病院開設許可（届出）事項変更届（診療科目「移植外科」の追加） |
| 令和元年8月31日 | 病院届出事項変更届（開設者（代表者）の変更） |
| 令和2年4月1日 | 病院開設届出事項変更届（管理者の住所及び氏名の変更） |
| 7月3日 | 病院開設許可事項変更許可（コロナ関連）（1階「計測室」を「特診室」に変更、1階「相談室①・②」を「計測室」に変更） |
| 7月10日 | 病院使用許可（コロナ関連）（1階 特診室） |
| 12月4日 | 病院開設許可事項変更許可（コロナ関連）（6階 事務局倉庫の設置） |
| 12月25日 | 病院開設許可事項変更許可（コロナ関連）（1階 診察室（プレハブ）、待合室（プレハブ）、仮設トイレの設置） |
| 令和3年1月5日 | 病院使用許可（コロナ関連）（1階 診察室（プレハブ）） |
| 2月17日 | 病院開設許可事項変更許可（コロナ関連）（5階NICU病室の分割 N4（7床室）をN4（3床室）、N5（3床室）、N6（1床室）に変更） |
| 2月22日 | 病院使用許可（コロナ関連）（5階NICU病室 N4、N5、N6） |

4 健康保険法に定める届出事項（施設基準等）

・基本診療料について

| | | |
|-------------|--------------------------|----------------|
| 平成22年 4月 1日 | 救急医療管理加算・乳幼児救急医療管理加算 | (救急加算) 第81号 |
| 平成24年 3月 1日 | 小児入院医療管理料 1 | (小入 1) 第2号 |
| 4月 1日 | 無菌治療室管理加算 1 | (無菌 1) 第5号 |
| 10月 1日 | データ提出加算 (2イ) | (データ提) 第61号 |
| | 救急搬送患者地域連携受入加算 | (救急受入) 第184号 |
| | 救急搬送患者地域連携紹介加算 | (救急紹介) 第115号 |
| | 新生児治療回復室入院医療管理料 | (新回復) 第4号 |
| | 患者サポート体制充実加算 | (患サポ) 第164号 |
| 平成25年 3月 1日 | 医師事務作業補助体制加算 2 (7 5 対 1) | (事補 2) 第77号 |
| 平成25年 4月 1日 | 医療安全対策加算 1 | (医療安全 1) 第13号 |
| | 診療録管理体制加算 2 | (診療録 2) 第16号 |
| 平成26年 4月 1日 | 感染防止対策加算 1 | (感染防止 1) 第9号 |
| | ※感染防止対策地域連携加算：有 | |
| | 新生児特定集中治療室退院調整加算 | (新生児退院) 第5号 |
| 9月 1日 | 新生児特定集中治療室管理料 1 | (新 1) 第1号 |
| | 特定集中治療室管理料 3 | (集 3) 第21号 |
| 10月 1日 | 一般病棟入院基本料 (7 対 1) | (一般入院) 第2325号 |
| | 臨床研修病院入院診療加算 (協力型) | (臨床研修) 第5号 |
| 平成27年 9月 1日 | 医師事務作業補助体制加算 2 (5 0 対 1) | (事補 2) 第77号 |
| 10月 1日 | 一般病棟入院基本料 (7 対 1) | (一般入院) 第1720号 |
| | 新生児治療回復室入院医療管理料 | (新回復) 第4号 |
| 平成28年 4月 1日 | 退院支援加算 3 | (退支) 第184号 |
| 5月 1日 | 感染防止対策加算 1 | (感染防止 1) 第9号 |
| | ※感染防止対策地域連携加算：有 | |
| 9月 1日 | 一般病棟入院基本料 (7 対 1) | (一般入院) 第2325号 |
| | 特定集中治療室管理料 3 | (集 3) 第21号 |
| 12月 27日 | 移転に伴う遡及指定 | |
| | 一般病棟入院基本料 (7 対 1) | (一般入院) 第2406号 |
| | 診療録管理体制加算 2 | (診療録 2) 第203号 |
| | 医師事務作業補助体制加算 2 | (事補 2) 第151号 |
| | 無菌治療室管理加算 1 | (無菌 1) 第18号 |
| | 医療安全対策加算 1 | (医療安全 1) 第227号 |
| | 感染防止対策加算 1 | (感染防止 1) 第50号 |
| | ※感染防止対策地域連携加算：有 | |
| | 患者サポート体制充実加算 | (患サポ) 第212号 |
| | データ提出加算 2 (イ) | (データ提) 第143号 |
| | 退院支援加算 3 | (退支) 第217号 |
| | 特定集中治療室管理料 3 | (集 3) 第94号 |
| | 新生児特定集中治療室管理料 1 | (新 1) 第10号 |
| | 新生児治療回復室入院医療管理料 | (新回復) 第9号 |

| | | | |
|-----------|--|----|--|
| 平成29年3月1日 | 小児入院医療管理料1 無菌治療室管理加算2 特定集中治療室管理料2（広範囲熱傷） ハイケアユニット入院医療管理料1 新生児特定集中治療室管理料1 新生児治療回復室入院医療管理料 小児入院医療管理料1 特定集中治療室管理料3 | | (小入1) 第6号 (無菌2) 第13号 (集2) 第2号 (ハイケア1) 第29号 (新1) 第10号 (新回復) 第9号 (小入1) 第6号 辞退 |
| 5月1日 | 感染防止対策加算1 ※感染防止対策地域連携加算：有 | | (感染防止1) 第50号 |
| 6月1日 | 歯科外来診療環境体制加算 | | (外来環) 第1166号 |
| 10月1日 | 医療安全対策加算1 特定集中治療室管理料2（広範囲熱傷） 患者サポート体制充実加算 | | (医療安全1) 第227号 (集2) 第2号 (患サポ) 第212号 |
| 12月1日 | 医師事務作業補助体制加算2（40対1） 診療録管理体制加算2 | | (事補2) 第151号 (診療録2) 第203号 |
| 平成30年4月1日 | 歯科点数表の初診料の注1 歯科外来診療環境体制加算 緩和ケア診療加算 医療安全対策加算1 感染防止対策加算1 | | (歯初診) 第136号 (外来環) 第1345号 (緩診) 第20号 (医療安全1) 第227号 (感染防止1) 第50号 |
| 9月1日 | 一般病棟入院基本料（急性期一般1） | | (一般入院) 第2406号 |
| 平成31年1月1日 | 小児特定集中治療室管理料 医療安全対策加算1 | | (小集) 第2号 (医療安全1) 第227号 |
| 令和元年6月1日 | 小児入院医療管理料1 ハイケアユニット入院医療管理料 | 辞退 | (小入1) 第6号 (ハイケア1) 第29号 |
| 7月1日 | 医師事務作業補助体制加算1（30対1） 医師事務作業補助体制加算2（40対1） | 辞退 | (事補1) 第113号 (事補2) 第151号 |
| 9月1日 | 栄養サポートチーム加算 | | (栄養チ) 第120号 |
| 11月1日 | 医師事務作業補助体制加算1（25対1） | | (事補1) 第113号 |
| 令和2年1月1日 | 入退院支援加算1 入退院支援加算3 | | (入退支) 第217号 (入退支) 第217号 |
| 4月1日 | 救急医療管理加算 入退院支援加算1 入退院支援加算3 地域医療体制確保加算 | | (救急医療) 第65号 (入退支) 第217号 (入退支) 第217号 (地医確保) 第16号 |
| 7月1日 | 急性期看護補助体制加算（25対1） | | (急性看補) 第199号 |

・特掲診療料について

| | | |
|-----------|----------------------|----------|
| 平成10年4月1日 | 大動脈バルーンパンピング法（IABA法） | (大) 第13号 |
| 平成11年9月1日 | 造血管腫瘍遺伝子検査 | (血) 第20号 |

| | | |
|-----------|--|--|
| 平成18年4月1日 | ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術 クラウン・ブリッジ維持管理料 | (ペ) 第15号 (補管) 第4198号 |
| 平成20年4月1日 | 検体検査管理加算 (I) 遺伝カウンセリング加算 無菌製剤処理料 集団コミュニケーション療法料 | (検I) 第64号 (遺伝カ) 第2号 (菌) 第1号 (集コ) 第21号 |
| 7月1日 | 検体検査管理加算 (II) | (検II) 第52号 |
| 平成21年2月1日 | 冠動脈CT撮影加算 心臓MRI撮影加算 | (冠動C) 第14号 (心臓M) 第16号 |
| 7月1日 | 頭蓋骨形成手術 (骨移動を伴うものに限る) | (頭移) 第4号 |
| 平成22年4月1日 | 一酸化窒素吸入療法 | (NO) 第2号 |
| 7月1日 | 神経学的検査 | (神経) 第29号 |
| 9月1日 | 薬剤管理指導料 | (薬) 第23号 |
| 平成23年4月1日 | 抗悪性腫瘍剤処方管理加算 | (抗悪処方) 第46号 |
| 平成24年4月1日 | 院内トリアージ実施料 ロービジョン検査判断料 CT撮影及びMRI撮影 脳血管疾患等リハビリテーション料 (I) 運動器リハビリテーション (I) 呼吸器リハビリテーション料 (I) 輸血管管理料II 病理診断管理加算1 | (トリ) 第13号 (ロー検) 第6号 (C・M) 第628号 (脳I) 第17号 (運I) 第84号 (呼I) 第8号 (輸血II) 第72号 (病理診1) 第4号 |
| 5月1日 | がん性疼痛緩和指導管理料 | (がん疼) 第171号 |
| 6月1日 | 高エネルギー放射線治療 | (高放) 第47号 |
| 平成25年4月1日 | 高度難聴指導管理料 医療機器安全管理料1 補聴器適合検査 小児食物アレルギー負荷検査 | (高) 第46号 (機安1) 第44号 (補聴) 第6号 (小検) 第2号 |
| 平成26年4月1日 | がん患者指導管理料1 がん患者指導管理料2 移植後患者指導管理料 (造血幹細胞移植) 胃瘻増設術 医科点数表第2章第10部手術の通則5及び6に掲げる手術 | (がん指1) 第49号 (がん指2) 第17号 (移植管造) 第5号 (胃瘻造) 第64号 (通手) 第24号 |
| 5月1日 | 歯科矯正診断料 | (矯診) 第73号 |
| 6月1日 | 画像診断管理加算1 画像診断管理加算2 | (画1) 第6号 (画2) 第59号 |
| 7月1日 | 麻酔管理料 (I) 麻酔管理料 (II) 持続血糖測定器加算 皮下連続式グルコース測定 | (麻管I) 第17号 (麻管II) 第18号 (持血測) 第9号 (皮グル) 第24号 |
| 12月1日 | 麻酔管理料 (I) 麻酔管理料 (II) | (麻管I) 第17号 (麻管II) 第18号 |

| | | |
|-----------|-------------------------|------------|
| 平成27年4月1日 | 上顎骨形成術、下顎骨形成術（骨移動を伴う場合） | （顎移）第1号 |
| 5月1日 | 麻酔管理料（Ⅰ） | （麻管Ⅰ）第17号 |
| | 麻酔管理料（Ⅱ） | （麻管Ⅱ）第18号 |
| 8月1日 | 麻酔管理料（Ⅰ） | （麻管Ⅰ）第17号 |
| | 麻酔管理料（Ⅱ） | （麻管Ⅱ）第18号 |
| 9月1日 | がん患者リハビリテーション料 | （がんリハ）第64号 |
| 平成28年2月1日 | 麻酔管理料（Ⅰ） | （麻管Ⅰ）第17号 |
| | 麻酔管理料（Ⅱ） | （麻管Ⅱ）第18号 |
| 3月1日 | がん患者リハビリテーション料 | （がんリハ）第64号 |
| 4月1日 | 麻酔管理料（Ⅰ） | （麻管Ⅰ）第17号 |
| | 麻酔管理料（Ⅱ） | （麻管Ⅱ）第18号 |
| 5月1日 | 麻酔管理料（Ⅰ） | （麻管Ⅰ）第17号 |
| | 麻酔管理料（Ⅱ） | （麻管Ⅱ）第18号 |
| 6月1日 | 遺伝学的検査 | （遺伝検）第10号 |
| 12月1日 | 麻酔管理料（Ⅰ） | （麻管Ⅰ）第17号 |
| | 麻酔管理料（Ⅱ） | （麻管Ⅱ）第18号 |
| 12月26日 | C T撮影及びMR I撮影 | （C・M）第628号 |
| 12月27日 | 移転に伴う遡及指定 | |
| | 高度難聴指導管理料 | （高）第207号 |
| | がん性疼痛緩和指導料 | （がん疼）第295号 |
| | がん患者指導管理料1 | （がん指1）第71号 |
| | がん患者指導管理料2 | （がん指2）第57号 |
| | 移植後患者指導管理料（造血幹細胞） | （移植管造）第8号 |
| | 院内トリアージ実施料 | （トリ）第70号 |
| | 薬剤管理指導料 | （薬）第446号 |
| | 医療機器安全管理料1 | （機安1）第156号 |
| | 持続血糖測定器加算及び皮下連続式グルコース測定 | （持血測）第30号 |
| | 遺伝学的検査 | （遺伝検）第16号 |
| | 検体検査管理加算（Ⅰ） | （検Ⅰ）第230号 |
| | 検体検査管理加算（Ⅱ） | （検Ⅱ）第119号 |
| | 遺伝カウンセリング加算 | （遺伝カ）第9号 |
| | 神経学的検査 | （神経）第168号 |
| | 補聴器適合検査 | （補聴）第31号 |
| | ロービジョン検査判断料 | （ロー検）第37号 |
| | 小児食物アレルギー負荷検査 | （小検）第69号 |
| | 画像診断管理加算1 | （画1）第97号 |
| | 画像診断管理加算2 | （画2）第92号 |
| | C T撮影及びMR I撮影 | （C・M）第971号 |
| | 冠動脈C T撮影加算 | （冠動C）第58号 |
| | 心臓MR I撮影加算 | （心臓M）第47号 |
| | 抗悪性腫瘍剤処方管理加算 | （抗悪処方）第58号 |
| | 無菌製剤処理料 | （菌）第130号 |
| | 脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅰ） | （脳Ⅰ）第138号 |

| | | |
|-----------|-----------------------------------|--------------------------|
| | 運動器リハビリテーション料（Ⅰ） | （運Ⅰ）第261号 |
| | 呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ） | （呼Ⅰ）第178号 |
| | がん患者リハビリテーション料 | （がんリハ）第87号 |
| | 集団コミュニケーション療法料 | （集コ）第60号 |
| | 頭蓋骨形成手術（骨移動） | （頭移）第5号 |
| | 上顎骨形成術（骨移動を伴う場合）、下顎骨形成術（骨移動を伴う場合） | （顎移）第2号 |
| | ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術 | （ペ）第234号 |
| | 大動脈バルーンパンピング法（IABP法） | （大）第85号 |
| | 手術の通則16に掲げる手術 | （胃瘻造）第183号 |
| | 輸血管管理料Ⅱ | （輸血Ⅱ）第112号 |
| | 麻酔管理料（Ⅰ） | （麻管Ⅰ）第202号 |
| | 麻酔管理料（Ⅱ） | （麻管Ⅱ）第23号 |
| | 高エネルギー放射線治療 | （高放）第52号 |
| | 病理診断管理加算1 | （病理診1）第30号 |
| | クラウン・ブリッジ維持管理料 | （補管）第5959号 |
| | 歯科矯正診断料 | （矯診）第85号 |
| 平成29年5月1日 | 麻酔管理料（Ⅰ） | （麻管Ⅰ）第202号 |
| | 麻酔管理料（Ⅱ） | （麻管Ⅱ）第23号 |
| | がん患者リハビリテーション料 | （がんリハ）第87号 |
| 6月1日 | 麻酔管理料（Ⅰ） | （麻管Ⅰ）第202号 |
| | 麻酔管理料（Ⅱ） | （麻管Ⅱ）第23号 |
| 12月1日 | 薬剤管理指導料 | （薬）第446号 |
| | 検体検査管理加算（Ⅰ） | （検Ⅰ）第230号 |
| | 検体検査管理加算（Ⅱ） | （検Ⅱ）第119号 |
| | 脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅰ） | （脳Ⅰ）第138号 |
| | 運動器リハビリテーション料（Ⅰ） | （運Ⅰ）第261号 |
| | 呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ） | （呼Ⅰ）第178号 |
| | 輸血管管理料Ⅱ | （輸血Ⅱ）第112号 |
| 平成30年2月1日 | 胎児心エコー法 | （胎心エコ）第18号 |
| 4月1日 | 麻酔管理料（Ⅰ） | （麻管Ⅰ）第202号 |
| | 麻酔管理料（Ⅱ） | （麻管Ⅱ）第23号 |
| | 脳波検査判断料1 | （脳判）第6号 |
| | 小児鎮静下MR I撮影加算 | （小児M）第3号 |
| 10月1日 | 在宅経肛門的自己洗腸指導管理料 | （在洗腸）第2号 |
| 令和元年5月1日 | 移植後患者指導管理料（臓器移植後） | （移植管臓）第6号 |
| | 抗HLA抗体（スクリーニング検査）及び抗HLA抗体 | （抗体特異性同定検査） （抗HLA）第3号 |
| 6月1日 | 麻酔管理料（Ⅰ） | （麻管Ⅰ）第202号 |
| 7月1日 | 骨髄微小残存病変量測定 | （骨残測）第5号 |
| 10月1日 | 生体部分肝移植術 | （生）第5号 |
| 12月1日 | 人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算 | （造設前）第84号 |
| 令和2年4月1日 | 小児運動器疾患指導管理料 | （小運指管）第42号 |

| | | |
|----------|----------------------------|------------|
| | 持続血糖測定器加算（間歇注入インジペン® 連動なし） | （持血測2）第5号 |
| | 先天性代謝異常症検査 | （先天異）第4号 |
| | 検体検査管理加算（Ⅳ） | （検Ⅳ）第57号 |
| | 国際標準検査管理加算 | （国標）第9号 |
| | 麻酔管理料（Ⅰ） | （麻菅Ⅰ）第202号 |
| | 病理診断管理加算2 | （病診2）第21号 |
| | 悪性腫瘍病理組織標本加算 | （悪病組）第32号 |
| 令和2年5月1日 | 全視野精密網膜電図 | （全網電）第4号 |
| 6月1日 | がんゲノムプロファイリング検査 | （がんプロ）第6号 |
| | 遺伝性腫瘍カウンセリング加算 | （遺伝腫カ）第6号 |
| 10月1日 | 麻酔管理料（Ⅰ） | （麻菅Ⅰ）第202号 |
| 令和3年2月1日 | 外来化学療法加算1 | （外化1）第142号 |

・その他について

| | | |
|-------------|---|---|
| 昭和59年12月1日 | 入院時食事療養Ⅰ | （食）第267号 |
| 平成25年4月1日 | 酸素の購入価格に関する届出 先進医療A（MRD測） | （酸単） （先-195）第1号 |
| 平成28年12月27日 | 移転に伴う遡及指定 酸素の購入価格に関する届出 入院時食事療養Ⅰ 先進医療A（MRD測） | （酸単）第803400号 （食）第824号 （先-195）第3号 |
| 平成29年2月1日 | 病院の初診にかかる費用 入院期間が180日を超える入院 入院医療に係る特別の療養環境の提供 | （病院初診）第184号 （超過入院）第922号 （入院養提供）第3457号 |
| 4月1日 | 時間外診察 200床以上の病院の初診 | （時間外診察）第27号 （病院初診）第184号 |
| 令和2年4月1日 | 200床以上の病院の再診 | （病院再診）第32号 |

5 専門医教育施設等の認定（更新状況）

| | |
|------------|--|
| 昭和59年4月7日 | 日本整形外科学会認定医研修施設 |
| 昭和60年10月2日 | 日本胸部外科学会認定医指定施設（平成18年1月1日～平成23年12月31日） |
| 昭和61年1月1日 | 日本麻酔学会麻酔指導病院（平成13年4月1日～平成23年3月31日） |
| 4月1日 | 日本病理学会登録施設（平成21年4月1日～平成23年3月31日） |
| | 日本小児外科学会専門医育成施設（平成28年4月1日～令和3年3月31日） |
| | 日本泌尿器科学会専門医教育施設（平成28年4月1日～令和3年3月31日） |
| | 日本医学放射線学会放射線診断専門医修練機関 （平成16年4月1日～平成19年3月31日） |
| | 日本医学放射線学会核医学診療専門医修練機関 （平成16年4月1日～平成19年3月31日） |
| 平成元年8月4日 | 日本脳神経外科学会専門医研修施設（平成23年4月～平成25年8月） |
| 平成3年3月15日 | 日本人類遺伝学会臨床遺伝学認定医研修施設（平成14年4月1日～平成17年3月31日） |
| 4月1日 | 日本腎臓学会認定教育施設（平成28年4月1日～令和3年3月31日） |
| 10月1日 | 日本眼科学会専門医制度研修施設（令和元年10月1日～令和3年9月30日） |
| 平成6年1月21日 | 日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設（平成30年4月1日～令和3年3月31日） |
| 3月12日 | 日本形成外科学会認定医研修施設（平成6年3月12日～） |
| 平成7年4月1日 | 日本人類遺伝学会臨床細胞遺伝学認定士研修施設 （平成24年4月1日～平成29年3月31日） |
| | 日本周産期・新生児医学会専門医暫定研修施設 （平成21年4月1日～平成26年3月31日） |
| | 日本血液学会専門研修認定施設（平成30年4月1日～令和5年3月31日） |
| 平成14年4月1日 | 日本人類遺伝学会・日本遺伝カウンセリング学会臨床遺伝専門医研修施設 （平成16年5月17日～平成27年3月31日） |
| 7月7日 | 日本小児科学会専門医研修施設（平成28年4月1日～令和3年3月31日） |
| 10月30日 | 厚生労働省臨床修練指定病院（平成14年10月30日～） |
| 平成15年3月10日 | 三学会構成心臓血管外科専門医認定機構基幹施設 （平成30年1月1日～令和4年12月31日） |
| 3月13日 | 日本整形外科学会専門医研修施設（平成15年3月13日～） |
| 4月1日 | 日本形成外科学会教育関連施設（平成15年4月1日～） |
| 11月19日 | 厚生労働省臨床研修病院（平成15年11月19日～） |
| 平成16年5月17日 | 日本遺伝カウンセリング学会臨床遺伝専門医研修施設 （令和2年4月1日～令和7年3月31日） |
| 9月30日 | 日本てんかん学会専門医研修施設（令和元年10月1日～令和2年9月30日） |
| 平成17年4月1日 | 日本アレルギー学会専門医教育研修施設（平成28年4月1日～令和3年3月31日） |
| 12月18日 | 日本小児科学会専門医研修支援施設（平成28年4月1日～令和3年3月31日） |
| 平成18年4月1日 | 日本病理学会研修認定施設S（令和元年4月1日～令和3年3月31日） |
| | 日本小児神経学会専門医研修施設（平成28年4月1日～令和3年3月31日） |
| 9月1日 | 日本リウマチ学会教育施設（平成30年9月1日～令和3年8月31日） |
| 平成19年4月1日 | 日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関（令和元年4月1日～令和4年3月31日） |
| 10月19日 | 日本感染症学会研修施設（平成25年3月1日～平成30年2月28日） |
| 11月1日 | 日本がん治療認定医機構認定研修施設（平成30年4月1日～令和5年3月31日） |

| | |
|------------|---|
| 平成20年1月18日 | 日本Pediatric Interventional Cardiology学会・日本心血管インターベンション治療学会合同教育委員会認定経皮的動脈管閉鎖術施行施設 (令和元年4月1日～令和4年3月31日) |
| 4月1日 | 日本小児循環器学会専門医修練施設(平成30年4月1日～令和5年3月31日) |
| 6月1日 | 日本アレルギー学会準教育施設(平成20年6月1日～平成28年3月31日) |
| 12月1日 | 日本外科学会外科専門医制度関連施設(令和3年1月1日～令和3年12月31日) |
| 平成23年4月1日 | 日本麻酔科学会麻酔科研修施設認定病院(平成28年4月1日～令和3年3月31日) 日本内分泌学会内分泌代謝科専門医制度認定教育施設 (平成29年4月1日～令和4年3月31日) 日本小児血液・がん学会専門医研修施設(平成28年4月1日～令和3年3月31日) 日本形成外科学会認定施設(平成23年4月1日～) |
| 平成25年8月28日 | 日本糖尿病学会連携教育施設(小児科)(平成30年4月1日～令和5年3月31日) |
| 平成27年2月1日 | 日本手外科学会研修施設(平成30年2月1日～令和3年1月31日) |
| 平成27年5月28日 | 日本皮膚科学会認定専門医研修施設(平成30年4月1日～令和3年3月31日) |
| 平成29年4月1日 | 日本小児感染症学会指導医教育研修プログラム施設 (平成29年4月1日～令和3年3月30日) |
| 平成30年3月28日 | 日本造血細胞移植学会認定非血縁者間造血幹細胞移植を施行する診療科 (令和2年4月1日～令和3年3月31日) |
| 平成30年4月1日 | 日本静脈経腸栄養学会NST稼働認定施設(平成30年4月1日～令和5年3月31日) |
| 平成30年10月1日 | 日本集中治療医学会専門医研修施設(平成30年10月1日～令和5年9月30日) |
| 平成31年1月1日 | 日本救急医学会救急科専門医指定施設(平成31年1月1日～令和元年12月31日※) ※新制度移行で2019年末廃止。経過措置で2025年まで有効。 |
| 平成31年4月1日 | 日本成人先天性心疾患学会専門医連携修練施設 (令和元年4月1日～令和5年3月31日) |
| 平成31年4月1日 | 日本心臓血管麻酔学会専門医認定基幹施設(令和元年4月1日～令和6年3月31日) |

第2章 施 設

1 敷地及び建物

(1) 敷 地

本館 10,031.17 m²

(2) 建物

本 館

| 名 称 | 構 造 | 延べ面積 | 備 考 |
|-----|----------------------------|--------------------------|---------------------------------|
| 本 館 | 鉄筋コンクリート地下1階/地上13階建 (免震構造) | 65,447.69 m ² | 付加機能 8,745.51 m ² 含む |

2 附属設備

| 設備名 | 設置機械 | 数量 | 形 式 及 び 性 能 |
|-------------|--------------------------|----|---|
| 電 気 設 備 | 受 変 電 設 備 | 3 | 22kV 3回線 [※] ネットワ-ク 契約電力2,000kW |
| | | 3 | 変圧器容量 1,500kVA×3 |
| | 発 電 機 | 2 | ガスタービン発電機 6.6kV 1,500kVA×2 |
| | | 3 | 地下タンク 30,000L×3 |
| | | 2 | 常用ガスエンジン発電機 370kW×2 |
| | | 1 | 太陽光発電 10kW |
| | 配 電 設 備 | 3 | 第1電気室：6,000kVA 第2電気室：2,700kVA 第3電気室：3,300kVA |
| | 無停電電源装置 | 2 | 300kVA×2 |
| 弱 電 設 備 | 電 話 | 1 | 電話交換機、電話機、スマートフォン等 |
| | 放 送 | 1 | 非常放送兼用 140局、ローカル [※] 6台 |
| | 電 気 時 計 | 1 | 親時計 40回路/子時計 |
| | ナ-スコール | 1 | 各スタッフステ-ションに設置/スマートフォンとの連動可 |
| | インターホン等 | 1 | オペ室、各入口に設置/トイレ呼出機設置 |
| | 入退室管理設備 | 1 | 非接触型カードリーダー 232台 |
| | 監 視 カ メ ラ | 1 | 監視カメラ 203台 |
| | 駐 車 場 管 制 設 備 | 1 | 機械式駐車場 320台 (発券機、割引機、精算機) |
| 搬送昇降設備 | エアーシューター | 1 | 2系統 24ステ-ション |
| | 自 走 台 車 | 1 | 1系統 2ステ-ション |
| | エ レ ベ - タ ー | 20 | 病棟用 3基、外来用 2基、検査用 2基、スタッフ寝台用 4基、救急用 1基、配膳用 1基、付加機能用 2基、その他 2基、小荷物用 1基 |
| | ボ イ ラ ー | 3 | 蒸気ボイラー 2,000 kg/h×3 |
| 空 気 調 和 設 備 | 吸 収 式 冷 温 水 発 生 機 | 2 | 400USRT×2台 |
| | 空 冷 ヒ - ト ポ ンプ チ- ャ ー | 2 | 676kW×2 |
| | ク ー リ ン グ タ ワ - | 2 | |
| | 熱 交 換 器 | 5 | プレート型熱交換器 (地冷用) 2,100kW×2+600kW (蒸気用) 1,650kW×2 |
| | 空 気 調 和 機 | | 外調機・空調機 (4管式、2管式)、FCU、CFU |
| | 給 排 気 フ ァ ン 換 気 フ ァ ン | | |

| 設備名 | 設置機械 | 数量 | 形式及び性能 |
|------|-----------|----|--|
| 衛生設備 | 受水槽 | 1 | 受水槽 140 m ³ ×1、加圧給水方式 |
| | 貯湯槽 | 8 | 貯湯タンク 5,000L×2 (予熱)、3,000L×2 (低層)、2,000L×2 (高層)、1,000L×2 (特別支援学校) |
| | R I 処理槽 | 5 | 貯留槽 15 m ³ ×2、希釈層 15 m ³ ×1、浄化槽 5人槽×2、排水量 500L/日 |
| | 特殊排水処理 | 1 | 中和及び薬品注入+次亜塩素酸による消毒処理 |
| | さく井設備 | 1 | 280m×200φ、揚水量 50 m ³ /日 |
| | 医療ガス | | 酸素、笑気、空気、窒素、吸引、炭酸ガス、液酸 ^{ツク} 4,900L |
| 防災設備 | 総合操作盤 | 1 | 複合GR型 3,684回線 |
| | 自動火災報知設備 | 1 | 表示盤×24 感知器×2,769 |
| | ガス漏れ火災警報 | 1 | 検知器 51 |
| | スプリンクラー | 2 | 湿式 ポンプ 1,080 l/分 134m 45kW ヘッド 5,545 放水型 ポンプ 1,760 l/分 103m 45kW ヘッド 23 |
| | 泡消火設備 | 1 | ポンプ 1,180 l/分 101m 37kW ヘッド 431 |
| | 不活性ガス消火設備 | 2 | 1,339.8 m ³ 噴射ヘッド 22 4,547.2 m ³ 噴射ヘッド 154 |
| | 防火防排煙設備 | 1 | 排煙口 172、ダンパー61、防火戸 61、防火シャッター45 |
| | 非常用放送設備 | 1 | 2,520W 133回線 スピーカー1,659 |
| | 誘導灯 | 1 | 避難口誘導灯 348 通路誘導灯 190 階段通路誘導灯 145 |
| | 非常照明 | 1 | 2,310台 |

3 主要備品

購入額1,000万円以上の主要備品等は、次のとおりである。

(令和3年3月31日現在)

| 品名 | 型式 | 数量 | 備考 |
|-------------------------|---|----|----|
| [検査] | | | |
| 自動免疫測定システム | AutoDELFIA (パーキンエルマー) | 1 | |
| 脳波計 | E E G -1218 (日本光電) | 1 | |
| アミノ酸分析装置 | J L C - 5 0 0 / V (日本電子) | 1 | |
| 循環器用超音波診断装置 | G E V i v i d E 9 (GEヘルスケア) | 1 | |
| 病理蛍光顕微鏡 | B X 6 0 - 3 4 (オリンパス) | 1 | |
| 血液製剤照射装置 | I B L - 4 3 7 C - 1 (C I S バイオ・インターナショナル) | 1 | |
| シーケンシングシステム | D N A シーケンサー-3130x1-200システム (アプライドバイオ) | 1 | |
| 循環器用超音波診断装置 | Vivid E9 (GEヘルスケア) | 1 | |
| 次世代シーケンサーシステム | MiSeqシステム (イルミナ) | 1 | |
| 心臓用超音波診断装置 | VividE9 XDclear (GEヘルスケア) | 1 | |
| 透過電子顕微鏡 | JEM-1400PLUS (日本電子) | 1 | |
| マイクロスキャン | WalkAway96Plus(ベックマンコールター) | 1 | |
| 迅速微生物分類同定分析装置 | MALDI バイオタイパー-MF JP10386 (ベックマンコールター) | 1 | |
| シーケンシングシステム | 3500 Dx ジェネティックアナライザ (ライフテクノロジーズジャパン) | 1 | |
| 心臓用超音波診断装置 | VividE95 他 (GEヘルスケア・ジャパン) | 1 | |
| 次世代シーケンシングシステム | NextSeq 2000 (イルミナ) | 1 | |
| 全自動遺伝子解析装置 | FilmArray TORCH 2モジュール 他 (ビオメリュー・ジャパン) | 1 | |
| [放射線] | | | |
| ポリグラフシステム | Sensis XP (シーメンス) | 1 | |
| X線撮影装置システム | UD150L-40 (島津製作所) | 1 | |
| 血管X線撮影装置 | Allura Xper FD10/10 (フィリップス) | 1 | |
| R I A 試料測定装置 | コブラクワンタム5010 (パッカード) | 1 | |
| 全身コンピュータ断層撮影装置 (X線CT装置) | Definition AS+128スライスCT (シーメンス) | 1 | |
| ガンマカメラシステム | SymbiaE (シーメンス) | 1 | |
| 磁気共鳴画像診断装置 (MRI) | Intera Achieva 1.5T Nova Dual (フィリップス) | 1 | |
| 多用途X線透視撮影装置 | C V I S I O N S A F I R E (島津製作所) | 1 | |
| X線撮影システム | Radnext80 (日立メディコ) | 1 | |
| MRI生体情報モニタリングシステム | Invivo Expression (フィリップス) | 1 | |
| 超音波診断装置 | ProSound α 7 (日立アロカ) | 1 | |
| X線テレビシステム | SONIALVISIONG4 (島津製作所) | 1 | |
| 17インチFPD | SFD-1717AFASSY (島津製作所) | 1 | |
| 128スライスCTスキャナー | SOMATOMDefinitionEdge (シーメンス) | 1 | |
| 治療用16列CTスキャナー | SOMATOMemotion16 (シーメンス) | 1 | |
| 3Dワークステーション | Vincento (富士フィルム) | 1 | |
| 16スライス型SPECT・CT | Symbia (シーメンス) | 1 | |
| MR1.0T超伝導 | Ingenia3.0TCX (フィリップス) | 1 | |
| MR1.5T超伝導アップグレード | Ingenia1.5TCX(フィリップス) | 1 | |
| 放射線治療装置 | SYNERGY (東芝) | 1 | |
| FPDシステム | CALNEO (島津製作所) | 1 | |
| 超音波診断機器 | LOGIQ E10 (GEヘルスケア) | 1 | |

| 品名 | 型式 | 数量 | 備考 |
|--------------------|-------------------------------------|----|----|
| [病棟] | | | |
| 新生児脳低温療法装置 | アーケティック2 (ケアフュージョン) | 1 | |
| 患者監視システム | ベッドサイドモニタ BSM-6701他 (日本光電) | 1 | |
| 超音波診断装置 | HD11 XE (フィリップス) | 1 | |
| 色素レーザー | Vbeam (キャンデラ) | 1 | |
| NICU用患者監視装置 | IntelliVue MX700他 (フィリップス) | 1 | |
| 生体情報モニタリングシステム | (フィリップス) | 1 | |
| 無影灯・シーリングペンダント | (エアウォーター防災) | 1 | |
| 新生児用人工呼吸器 | AveaスタンダードCLio2(アイ・エム・アイ) | 1 | |
| エコパルザー消毒器 | HE-3(メディエート) | 1 | |
| 超音波診断装置 | VolusonE10 (GEヘルスケア・ジャパン) | 1 | |
| 3次元眼底撮影装置 | DRI-OCTTriton (トプコン) | 1 | |
| 患者監視装置 | CNS-6201 (日本光電) | 1 | |
| ウォールケアユニット | (セントラルユニ) | 1 | |
| ウォールケアユニット | (エアウォーター防災) | 1 | |
| 広画角デジタル眼撮影装置 | Retcam3 (アイネクスト) | 1 | |
| 生体情報モニタリングシステム | IntelliVueMX800生体情報モニタ (フィリップス) | 1 | |
| 補助循環装置 | メラ遠心血液ポンプシステム HCS-CFP (泉工医科工業) | 1 | |
| 母乳低温殺菌装置 | Model T-30 (エアブラウン) | 2 | |
| 自動採血管準備装置 | BC・ROBO-8001RFID/T62 (テクノメディカ) | 1 | |
| [手術] | | | |
| 手術用顕微鏡 | OPMI PENTERO (カールツァイス) | 1 | |
| 手術室用移動式X線透視装置 | BV pulsera 12 (フィリップス) | 1 | |
| 眼科用同軸顕微鏡 | OPMI VISU 160 (カールツァイス) | 1 | |
| 超音波診断装置 | iE33 xMATRIXシステム (フィリップス) | 1 | |
| 超音波診断装置 | ProSound SSD-α7 (アロカ) | 1 | |
| プラズマ滅菌システム | ステラッド100S PS II 19375 (ジョンソン&ジョンソン) | 1 | |
| 内視鏡手術室システム | ENDOALPHA (オリンパス) | 1 | |
| Ho-YAG Laser装置 | IH102 (エムエムアンドニーク) | 1 | |
| CO2レーザー | AcuPulse 40W (日本ルミナス) | 1 | |
| 内視鏡手術室システム | ハイビジョン内視鏡システム (オリンパス) | 1 | |
| 手術用顕微鏡 | OPMI PENTERO 900 (カールツァイス) | 1 | |
| 血管撮影装置 | AlluraXper FD20 (フィリップス) | 1 | |
| 無影灯・シーリングペンダント | (エアウォーター防災) | 1 | |
| 磁場式・光学式ナビゲーションシステム | (ブレインラボ) | 1 | |
| 白内障硝子体手術装置 | CVS-XT (日本アルコン) | 1 | |
| 生体情報モニタリングシステム | (フィリップス) | 1 | |
| 内視鏡システム | EVIS LUCERA ELITE (オリンパス) | 1 | |
| 外科用イメージ | モバイルCアームシステム BV Pulsera 12 (フィリップス) | 1 | |
| 電子内視鏡手術システム | VISERA ELITE2 (オリンパス) | 1 | |
| [中央材料] | | | |
| 高圧蒸気滅菌装置ダブル | HS6613TDR2-SR (ゲティンゲ) | 3 | |
| ハイブリッド滅菌装置ダブル | HS6613TDR2LTSF-SR (ゲティンゲ) | 1 | |
| 滅菌管理システム | T-DOC (ゲティンゲ) | 1 | |
| [保健発達] | | | |
| オーバーヘッドフレーム | 天井走行レール他 (佐伯工務店) | 1 | |

| 品名 | 型式 | 数量 | 備考 |
|---------------------|---------------------------------------|----|----|
| [その他] | | | |
| 広画面デジタル眼撮影装置 | RetCamIII コンソール (クオリティメディカルシステム) | 1 | |
| 質量検出器 | TSQ Quantum (サーモフィッシャーサイエンティフィック) | 1 | |
| 薬剤部無菌室ユニット | (日科ミクロン) | 1 | |
| 注射薬自動払出装置 | (トーショー) | 1 | |
| アクアクリーン | CL-5370 (日本クレア) | 1 | |
| 全自動高速型自動細胞解析装置 | CytoFLEXSB2-R3-V4-Y4 (ベックマンコールター) | 1 | |
| 生細胞リアルタイムイメージング解析装置 | IN Cell Analyzar 2200 (GEヘルスケア・ジャパン) | 1 | |
| FISH解析装置 | MetaCyte サイトジェネティックススキャンニング (カールツァイス) | 1 | |
| 免疫蛍光ソーター装置 (セルソーター) | Cell Sorter SH800S 2レーザー (ソニー) | 1 | |
| 遠心型血液成分分離装置 | スペクトラオプティア 61000 (テルモ) | 1 | |
| 全自動染色装置システム | ペンタナ HE600、ベンチマークSS (ロシュ・ダイアグノスティックス) | 1 | |

4 小児医療センター医療情報システム

(1) 経緯

| | |
|----------|---------------------------|
| 昭和58年4月 | 埼玉県病院総合情報システムの共同利用を開始する。 |
| 平成9年 | 小児医療センター医療情報システムの調査を実施する。 |
| 平成10年10月 | 初代システムの開発に着手する。 |
| 平成12年2月 | システムを切替える。 |
| 平成12年4月 | 初代システムの本格的な運用を開始する。 |
| 平成18年3月 | 旧システム（オーダーリング）基本設計をまとめる。 |
| 平成18年11月 | 旧システム（オーダーリング）の開発に着手する。 |
| 平成19年9月 | 旧システム（オーダーリング）運用開始 |
| 平成24年9月 | 現行システム（電子カルテ）の開発に着手する。 |
| 平成25年9月 | 現行システム（電子カルテ）の運用開始 |
| 平成27年7月 | 重症患者部門システムの開発に着手する。 |
| 平成28年12月 | 現行システム（電子カルテ）の新病院への移設 |
| 〃 | 重症患者部門システムの運用開始 |
| 令和3年1月 | 現行システム（電子カルテ）の更新 |

(2) システム構成の概要

小児医療センター医療情報システムは、医療の質的向上、患者サービスの向上を図るため、病院の内外に発生する種々の医療情報を、迅速かつ的確に処理・蓄積し、医療現場や各関係部門へ瞬時に正確な情報を提供するものである。また、膨大な情報を一元的に利用することで、医学研究の促進、病院経営の改善などにも生かしていくものである。

システムは、ネットワークの構成上から、業務系システムと診療支援系システムに分けられる。業務系システムは、院内のみのネットワークにより、医師等の診療行為を入力する電子カルテシステムやオーダーリングシステムをはじめ、受付・会計部門や検査、放射線、薬剤などの各部門のサブシステムが相互に連携している。また、診療支援系システムは、院内コミュニケーションLANと接続しており、病院内外の情報交換を行う診療支援サブシステムや図書館サブシステムにより構築される。

システムの形態は、各端末からのオーダー業務や部門業務における情報の入出力が円滑に動作するクライアント/サーバ型のシステムを採用し、また、オーダー等情報の入出力応答速度の低下を招かぬよう、高速LAN（ギガビットイーサ）により構築されている。

※業務系各部門サブシステム

医事会計サブシステム、放射線部門システム（診断）、放射線治療部門システム（治療）、医用画像管理システム、画像・文書一元管理システム、検像システム、臨床検査（検体・細菌・健診）システム、輸血管理システム、遺伝検査システム、病理部門システム、マス・スクリーニングシステム、生理機能検査部門システム、動画管理システム、栄養管理部門システム、調剤支援システム、医薬品情報データベース、服薬指導システム、在宅支援相談システム、保健発達部門システム、物流管理システム、ME部門システム、文書作成支援システム、診療情報管理部門システム、DPC支援システム、患者未収金管理システム、看護勤務システム、医療安全管理システム、研究支援システム、治験管理システム、患者呼出システム、生理検査（脳神経・心電図）システム、重症患者部門システム（重症系病棟部門システム、手術部門システム、救急部門システム、眼科部門システム、手術映像システム）、臨床情報匿名化管理システム

(3) オーダーリングシステムの概要

オーダーリングシステムとは、診療の現場で、医師や看護師が直接パソコンを操作し、処方や検査などのオーダー（従来の処方箋や依頼伝票にあたるもの）を入力するシステムである。入力されたオーダー

内容は、薬剤部や検査部門などの関連部門に決められたタイミングで送信されるとともに、医事会計に伝達され、診療報酬請求が行われる。

(4) 旧システムの開発経緯

平成12年4月に稼働した初代システムは、年々老朽化が進み、今後も安定的な病院運営を継続するために、システム機器の耐用年数を超える平成18年度には、システム更新が必須であった。

旧システムは、医療情報システム委員会において、平成18年3月システム基本設計（システム要求仕様書）をまとめ、病院局経営管理課により「総合評価方式による一般競争入札」が実施され、11月から開発を着手し、平成19年9月から運用を開始した。

(5) 電子カルテシステムの概要

電子カルテシステムとは旧システムのオーダーリングシステムに電子カルテシステムを追加することで職員間のカルテ情報共有及び診療、会計、収支分析までの一貫した電子化が可能になり、業務の効率化が図られた。

(6) 現行システムの開発経緯

平成19年9月に稼働した旧システムは年々老朽化が進み更新時期を迎えるとともに、旧システムが抱える様々な課題（更なる診療の効率化、医療安全の向上、患者サービスの向上、経営改善等）への取り組みの観点から、電子カルテシステムを中心としたシステムの構築が必要となった。

現行システムは、医療情報システム委員会において、平成24年5月システム基本設計（システム要求仕様書）をまとめ、病院局経営管理課により「低価格方式による一般競争入札」が実施され、9月から開発に着手、平成25年9月から稼働を開始した。

(7) 現行システム（電子カルテ）の新病院への移設

稼働中の医療情報システムを移設するにあたっては、入院患者等への診療行為への影響を少なくするため、システム停止、移送、設置の時間を極力短くすることが求められた。特に電子カルテ等基幹となるシステムにおいては、より安全な移設を行う必要性から、旧病院と新病院の双方にサーバを設置し、通信回線を用いたデータ移行を行った。旧病院で17時にシステム停止後、翌日7時には新病院でシステムが稼働した。

(8) 重症患者部門システムの開発経緯

新病院移転に伴い機能を強化する周産期、小児救急など高度医療に対応するため、新たに重症患者部門システムの構築が必要となった。

病院局経営管理課により「低価格方式による一般競争入札」が実施され、平成27年9月から開発に着手、平成28年12月から稼働を開始した。

重症系の病床では、患者は分刻みで容態が変わることから、重症患者部門システムで生体情報の自動記録及び一元管理を行うことにより、適切な治療の実施及び医療事故の防止を図っている。

(9) 現行システム（電子カルテ）の更新

現行システムのサーバ等ハードウェアの保守期限満了及びOSサポート終了に伴い、ハードウェアのリプレイス及びソフトウェアのアップデートが必要となった。

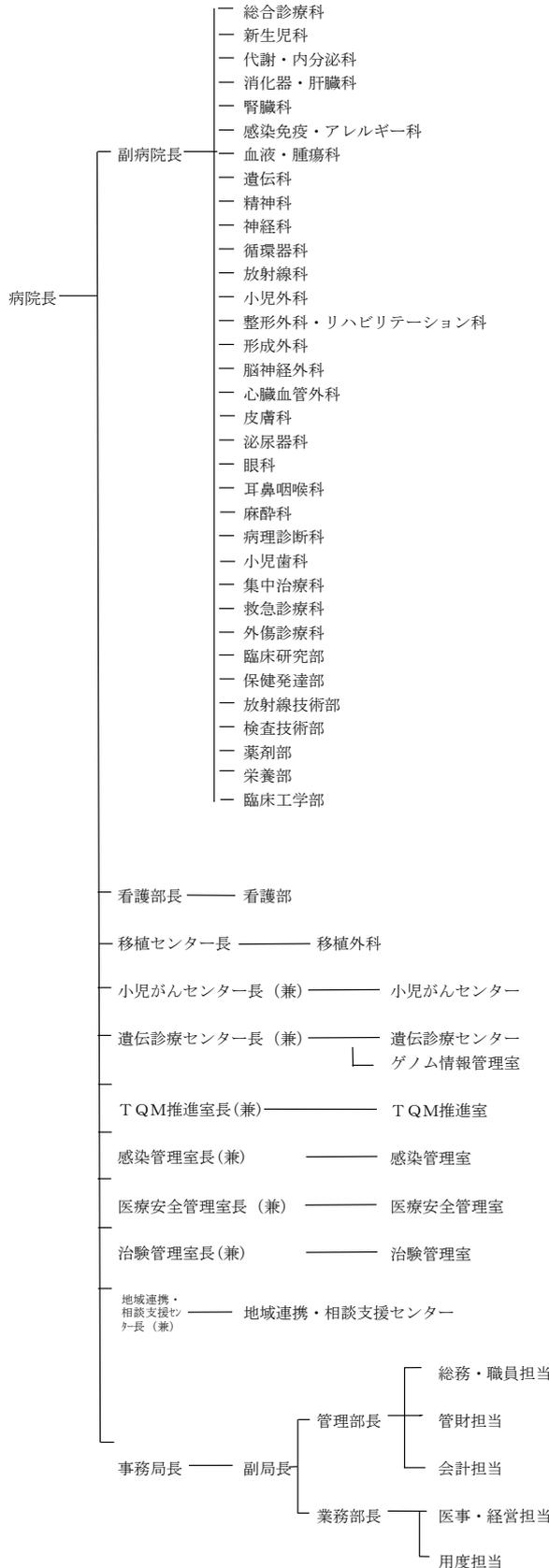
現行システムベンダーと随意契約を行い、令和2年5月から更新業務に着手、令和3年1月から稼働を開始した。

システム更新に際しては、患者サービスの向上、チーム医療の実現と医療安全の徹底、業務効率化やリソースの効率的運用等に資するべく、システムの改善・拡充を図った。

第3章 組織・運営

1 機構

(令和2年4月1日現在)



職種別職員数(現員)

(令和2年4月1日)

| 小児医療センター | |
|-----------------|-----|
| 医師 | 122 |
| 歯科医師 | 1 |
| 歯科衛生士 | 1 |
| 看護師 | 514 |
| 移植コーディネーター | 1 |
| 診療放射線技師 | 25 |
| 臨床検査技師 | 38 |
| 薬剤師 | 18 |
| 栄養士 | 4 |
| 理学療法士 | 8 |
| 作業療法士 | 5 |
| 視能訓練士 | 2 |
| 臨床心理士 | 4 |
| 臨床工学技士 | 9 |
| 言語聴覚士 | 3 |
| 看護助手 | 2 |
| 医療社会事業職 | 3 |
| チャイルドライフスペシャリスト | 1 |
| 小計 | 761 |
| 事務 | 22 |
| 技師(電気) | 1 |
| 技師(設備) | 2 |
| 医療事務職 | 5 |
| 小計 | 30 |
| 合計 | 791 |

(平成31年4月1日)

| 小児医療センター | |
|-----------------|-----|
| 医師 | 118 |
| 歯科医師 | 1 |
| 看護師 | 519 |
| 移植コーディネーター | 1 |
| 診療放射線技師 | 25 |
| 臨床検査技師 | 36 |
| 薬剤師 | 19 |
| 栄養士 | 4 |
| 理学療法士 | 8 |
| 作業療法士 | 5 |
| 視能訓練士 | 2 |
| 臨床心理士 | 4 |
| 臨床工学技士 | 8 |
| 言語聴覚士 | 3 |
| 看護助手 | 3 |
| 医療社会事業職 | 3 |
| チャイルドライフスペシャリスト | 1 |
| 小計 | 760 |
| 事務 | 22 |
| 技師(電気) | 1 |
| 技師(設備) | 2 |
| 医療事務職 | 5 |
| 小計 | 30 |
| 合計 | 790 |

役職者及び医師名簿

(令和2年4月1日)

| 役職名 | 氏名 | 備考 | 役職名 | 氏名 | 備考 |
|---|-------------|--------|----------------|-------------|-----------|
| 病院長 | 岡 明 | 神経科 | 救急診療科長 | 榎 田 育 也 | |
| 副病院長兼小児がんセンター長兼感染管理室長兼医療安全管理室長兼治療管理室長兼地域連携、相談支援センター長 | 望 月 弘 | 代謝内分泌科 | " 医長 | 梶 川 優 介 | |
| 副病院長兼泌尿器科長 | 渡 邊 彰 二 | 形成外科 | " 医長 | 中 野 諭 | |
| 副病院長兼病理診断科長兼放射線技術部部長兼検査技術部部長兼臨床工学部長兼遠隔診療センター長兼ICU推進室長 | 小 熊 栄 二 | 放射線科 | " 医長 | 濱 本 学 | |
| 看護部長 | 中 田 尚 子 | | " 医長 | 利 根 澤 慧 | |
| 総合診療科長 | 田 中 学 | | " 医長 | 佐 藤 健 一 | |
| " 副部長 | 杉 山 正 彦 | | " 医長 | 岸 本 健 寛 | |
| " 医長 | 野 田 あ ん ず | | " 医員 | 櫻 井 恭 弘 | |
| " 医員 | 高 木 真 理 子 | | 外傷診療科医長 | 多 田 昌 弘 | |
| 新生児科長 | 清 水 正 樹 | | " 医長 | 宮 本 大 輔 | |
| " 副部長 | 菅 野 雅 美 | | 臨床研究部長 | 中 澤 温 子 | |
| " 副部長 | 川 畑 建 彦 | | 保健推進部医長 | 菊 池 健 二 郎 | |
| " 医長 | 承 元 純 | | " 医長 | 小 一 原 玲 子 | |
| " 医長 | 関 野 将 行 | | " 副部長 | 吉 岡 明 美 | 理学療法士 |
| " 医長 | 関 野 知 佳 | | " 副技師長 | 岡 田 洋 一 | 作業療法士 |
| " 医長 | 今 西 利 之 | | " 副技師長 | 小 林 順 子 | 視能訓練士 |
| " 医長 | 栗 田 早 織 | | " 副技師長 | 白 子 淑 江 | 理学療法士 |
| " 医員 | 伊 藤 一 之 | | " 主査 | 成 田 有 里 | 臨床心理士 |
| " 医員 | 藤 沼 澄 江 | | " 副技師長 | 神 原 孝 子 | 理学療法士 |
| " 医員 | 角 谷 和 歌 子 | | " 主査 | 黒 田 舞 | 臨床心理士 |
| 代謝・内分泌科長 | 小 林 亮 太 | | " 主査 | 森 秀 都 | 臨床心理士 |
| " 医長 | 会 津 亮 哉 | | " 副技師長 | 花 町 芽 生 | 理学療法士 |
| " 医長 | 田 嶋 朝 子 | | " 副技師長 | 島 崎 貴 子 | 理学療法士 |
| 消化器・肝臓科長 | 河 野 智 敬 | | 放射線技術副部長 | 松 本 成 幸 | |
| " 医長 | 岩 間 達 彦 | | " 副技師長 | 藤 田 茂 | |
| " 医長 | 南 部 隆 光 | | " 副技師長 | 田 中 宏 | |
| 腎臓科長 | 原 朋 子 | | " 副技師長 | 若 林 康 治 | |
| " 医長 | 藤 永 周 一 郎 | | " 副技師長 | 村 田 孝 弘 | |
| 感染免疫・アレルギー科長 | 仲 川 真 由 | | " 副技師長 | 上 田 規 清 | |
| " 医長 | 大 貫 裕 太 | | 検査技術副部長 | 伊 村 浩 良 | |
| " 医長 | 菅 沼 栄 介 | | " 副部長 | 神 嶋 敏 弘 | |
| " 医長 | 佐 藤 智 智 | | " 副部長 | 小 山 真 弘 | |
| " 医長 | 上 島 洋 二 | | " 副技師長 | 糸 井 正 枝 | |
| " 医長 | 古 市 美 穂 子 | | " 副技師長 | 菅 本 英 雄 | |
| " 医長 | 大 西 卓 磨 | | " 副技師長 | 大 谷 真 澄 | |
| 血液腫瘍科長 | 康 勝 好 | | " 副技師長 | 坂 中 須 美 子 | |
| " 副部長 | 荒 川 ゆ う き | | " 副技師長 | 遠 井 悦 子 | |
| " 医長 | 大 嶋 宏 一 | | " 副技師長 | 佐 竹 和 美 | |
| " 医長 | 福 岡 謙 平 | | " 副技師長 | 千 葉 正 道 | |
| " 医長 | 森 麻 希 子 | | " 副技師長 | 橋 沼 幹 男 | |
| " 医長 | 三 谷 友 文 | | " 副技師長 | 益 子 明 子 | |
| 遺伝科長 | 大 橋 博 一 | | " 副技師長 | 三 井 規 雅 | |
| " 医長 | 大 場 大 樹 | | 薬剤部長 | 嶋 崎 幸 也 | |
| 精神科長 | 舟 橋 歌 一 | | " 副技師長 | 石 井 香 織 | |
| " 副部長 | 平 山 優 美 | | " 副技師長 | 高 橋 良 平 | |
| 神経科長 | 浜 野 晋 一 郎 | | " 副技師長 | 高 橋 優 太 | |
| " 医長 | 松 浦 隆 樹 | | " 副技師長 | 石 井 香 織 | |
| " 医長 | 平 田 佑 子 | | 栄養部長 | 砂 押 恵 美 子 | |
| 循環器科長 | 星 野 健 司 | | 臨床工学部副技師長 | 古 山 嘉 明 | |
| " 医長 | 河 内 真 典 | | 看護副部長 | 宇 津 木 正 代 | |
| " 医長 | 太 田 健 太 | | " 副部長 | 長 上 美 喜 恵 | |
| " 医員 | 西 岡 真 樹 子 | | " 副部長 | 株 崎 雅 子 | |
| 放射線科長 | 田 渡 裕 美 子 | | " 副部長 | 曾 我 貴 子 | |
| " 医長 | 細 川 崇 洋 | | 看護師長 | 橋 本 淳 子 | 9A病棟 |
| " 医長 | 川 嶋 寛 | | " 師長 | 森 武 男 | 9B病棟 |
| " 医長 | 石 丸 哲 也 | | " 師長 | 小 久 保 知 寿 子 | 10A病棟 |
| " 医長 | 林 健 太 郎 | | " 主査 | 福 地 麻 貴 子 | " |
| " 医員 | 合 原 巧 | | " 師長 | 細 沼 宏 美 | 10B病棟 |
| " 医員 | 産 本 陽 平 | | " 師長 | 秋 山 典 子 | 11A病棟 |
| " 医員 | 迫 木 宏 宣 | | " 師長 | 沖 田 淳 也 | 11B病棟 |
| 整形外科・リハビリテーション科長 | 平 良 勝 磨 | | " 師長 | 中 島 美 幸 | " |
| " 医長 | 及 川 昇 昇 | | " 師長 | 井 筒 道 子 | 12A病棟 |
| " 医長 | 大 石 央 代 | | " 師長 | 佐 藤 貴 之 | NICU |
| 形成外科長 | 渡 辺 あ ず さ | | " 副師長 | 小 平 良 子 | " |
| " 医員 | 竹 中 由 衣 | | " 主査 | 立 花 亜 紀 子 | " |
| 脳神経外科長 | 栗 原 淳 | | " 師長 | 五 十 嵐 美 和 | GCU |
| " 医員 | 吉 村 相 大 | | " 主査 | 岡 谷 恭 子 | " |
| " 医員 | 森 史 | | " 師長 | 長 谷 部 美 知 子 | PICU |
| 心臓血管外科長 | 野 村 耕 司 | | " 副師長 | 長 谷 川 久 美 子 | " |
| " 副部長 | 濱 屋 和 典 | | " 師長 | 松 永 幸 子 | HCU |
| " 医長 | 山 本 裕 介 | | " 師長 | 野 口 京 子 | 手術室兼中央材料室 |
| " 医員 | 村 山 史 朗 | | " 師長 | 長 谷 部 美 知 子 | 救急 |
| 皮膚科長 | 玉 城 善 史 郎 | | " 副師長 | 藤 川 剛 | " |
| " 医員 | 沢 辺 優 木 子 | | " 主査 | 細 井 千 晴 | " |
| 泌尿器科長 | 多 岐 研 介 | | " 師長 | 鈴 木 泰 子 | 外来兼在宅支援相談 |
| " 医長 | 吉 澤 信 輔 | | " 主査 | 上 原 浩 子 | 外来 |
| 眼科長 | 神 部 友 香 | | " 主査 | 近 藤 美 和 子 | 在宅支援相談担当 |
| " 医員 | 塩 田 亜 里 香 | | 移植センター長兼移植外科長 | 水 田 耕 一 | |
| 耳鼻咽喉科長 | 浅 沼 の ぞ 子 | | 移植外科医長 | 井 原 欣 幸 | |
| " 医長 | 安 達 の ど か | | " 医員 | 小 俣 佳 菜 子 | |
| 麻酔科長 | 磯 谷 紀 文 | | " 主査 | 田 村 恵 美 | |
| " 副部長 | 古 賀 洋 安 | | 医療安全管理室主査 | 水 村 こ ず 枝 | 医療事務 |
| " 医長 | 佐 々 木 麻 美 子 | | 地域連携相談支援センター主査 | 加 藤 孝 之 | |
| " 医長 | 石 田 佐 知 | | 事務局長 | 加 藤 孝 之 | |
| " 医長 | 大 橋 智 | | " 副局長兼管理部長 | 敷 藤 正 也 | |
| " 医長 | 石 川 玲 利 | | 総務職員担当主査 | 須 藤 翔 太 | |
| " 医長 | 駒 崎 真 矢 | | 会計担当主査 | 木 岡 士 | |
| " 医長 | 高 田 美 沙 | | 管財担当主査 | 大 野 哲 安 | |
| " 医員 | 小 林 康 隆 | | 業務部長 | 川 島 達 夫 | |
| " 医員 | 櫻 井 と も え | | 医事経営担当主査 | 藤 哲 男 | 医療事務 |
| 歯科長 | 高 橋 康 男 | | " 主査 | 松 山 勇 吉 | |
| 集中治療科長 | 新 津 健 裕 | | 用度担当主査 | 金 沢 俊 治 | |
| " 医長 | 林 拓 也 | | | | |
| " 医長 | 新 津 麻 子 徳 | | | | |
| " 医長 | 齋 藤 千 徳 | | | | |
| " 医長 | 宮 卓 也 | | | | |
| " 医長 | 谷 昌 憲 | | | | |
| " 医長 | 中 村 文 人 | | | | |
| " 医長 | 細 谷 通 晴 | | | | |
| " 医長 | 木 村 翔 太 | | | | |
| " 医長 | 三 浦 義 文 | | | | |
| " 医長 | 平 岡 聡 | | | | |
| " 医員 | 福 島 正 大 | | | | |

2 病棟構成

(平成28年12月27日から)

| 病棟名 | 病床数 | 開棟年月日 | 構成 |
|---------------|-----|-------------|-------------------------|
| 4 A (P I C U) | 14床 | 平成28年12月27日 | 1床室14 |
| 4 B (H C U) | 20床 | 平成28年12月27日 | 1床室20 |
| 5 A (N I C U) | 30床 | 平成28年12月27日 | N I C U 30 |
| 5 B (G C U) | 48床 | 平成28年12月27日 | G C U 48 |
| 9 A | 28床 | 平成28年12月27日 | 4床室5、1床室8 |
| 9 B | 28床 | 平成28年12月27日 | 4床室5、1床室8 |
| 10 A | 28床 | 平成28年12月27日 | 4床室3、1床室16 (内 無菌4、準無菌4) |
| 10 B | 28床 | 平成28年12月27日 | 4床室5、1床室8 |
| 11 A | 28床 | 平成28年12月27日 | 4床室3、1床室16 |
| 11 B | 28床 | 平成28年12月27日 | 4床室4、1床室12 |
| 12 A | 36床 | 平成28年12月27日 | 4床室6、1床室12 |

3 診療制度

当センターは、重篤・難治な疾患を対象とした小児専門の三次医療施設であり、また地域医療支援病院であるため、医師の紹介・予約により診療を行っている。したがって、診療を受けるためには、通常は医師に診療情報提供書（紹介状）を書いてもらい、患者の家族が直接電話で診療日等を予約することになっている。ただし、緊急の場合は、医師から当センターの担当医等に直接電話連絡の上、診療情報提供書により診療をすることになっている。

保健発達部門への紹介は、保健機関、福祉機関、教育機関等からの紹介も受けている。

4 会計制度

当センターは地方公共団体が設置した病院であるため、地方公営企業法第2条第2項の規定に基づき企業会計により運営している。

5 運営協議会

当センターでは、センターの運営について協議するとともに関係医療機関と緊密な連携を図り、センターの適切な運営に資するため、埼玉県立小児医療センター運営協議会を設置していたが、平成14年度より、病院局の4病院合同による埼玉県立病院運営協議会として開催されることとなった。

令和2年度の開催状況及び委員名簿は次のとおりである。

| 年 月 日 | 協 議 内 容 |
|------------|--|
| 令和2年11月19日 | (1) 令和元年度埼玉県立病院の運営状況について ① 令和元年度埼玉県病院事業会計決算の概要 ② 令和元年度病院別運営状況 (2) 埼玉県立病院経営改善アクションプラン (平成30～令和2年度)の進捗状況について (3) 令和2年度埼玉県立病院の運営状況について |

県立病院運営協議会委員名簿

令和2年11月19日現在

| 氏 名 | 職 名 |
|---------|--------------------------|
| 美 田 宗 亮 | 埼玉県議会福祉保健医療委員長 |
| 横 川 雅 也 | 埼玉県議会福祉保健医療副委員長 |
| 奥ノ木 信 夫 | 川口市長 |
| 大 島 清 | 伊奈町長 |
| 内 田 典 子 | 埼玉母親連絡会事務局長 |
| 金 井 忠 男 | 埼玉県医師会長 |
| 水 谷 元 雄 | 埼玉県医師会副会長 |
| 廣 澤 信 作 | 埼玉県医師会副会長 |
| 神 田 誠 | 埼玉県医師会副会長 |
| 桑 原 栄 | 埼玉県歯科医師会専務理事 |
| 石 川 治 美 | 埼玉県看護協会副会長 |
| 遠 藤 俊 輔 | 自治医科大学附属さいたま医療センター センター長 |
| 野 崎 美和子 | 獨協医科大学埼玉医療センター放射線科教授 |
| 森 脇 浩 一 | 埼玉医科大学総合医療センター小児科教授 |
| 吉 野 相 英 | 防衛医科大学校精神科学講座教授 |

6 地域医療との連携

当センターは、重篤・難治な疾患を対象とした小児専門の三次医療施設であるため、患者はすべて医師からの紹介により受け入れている。したがって、病院運営上特に地域医療機関との連携を図ることが重要である。

そこで、当センターでは、地域医療機関とのより一層の連携を図るため、次のような事業を行っている。

- (1) 各地域の医師（病院・診療所）等に対する、当センターへの紹介・予約方法等のPRの徹底
- (2) 紹介医に対する紹介患者の診療結果等の連絡などアフターケアの充実
- (3) 診療連絡委員会の設置（昭和58年8月から、地域医療機関の医師の代表等を委員とした埼玉県立小児医療センター診療連絡委員会を設置し、地域医療機関との連絡方法等の検討や地域の医師等の参加できる講演会、症例検討会等の企画・立案を行っている。）

令和1年度は、令和2年9月9日に小児医療センターにおいて診療連絡委員会を開催した。

- (4) 地域の医師等を対象にした症例検討会（小児疾患集談会）の開催
- (5) 地域の医療機関などを対象とした『小児医療センターだより』の発行

埼玉県立小児医療センター診療連絡委員会委員名簿

令和2年4月1日現在

(順不同)

| | 氏 名 | 職 名 |
|------|---------|---------------|
| 委員長 | 峯 眞 人 | 岩槻医師会 理事 |
| 副委員長 | 森 泰二郎 | さいたま市与野医師会会長 |
| | 松 本 辰 美 | 浦和医師会 理事 |
| | 手 塚 徹 | 浦和医師会 |
| | 許 重 治 | 大宮医師会 理事 |
| | 関 孝 | 大宮医師会 |
| | 鈴 木 敏 雄 | さいたま市与野医師会 理事 |
| | 山 森 裕 之 | 川口医師会 理事 |
| | 數 間 雅 子 | 蕨戸田医師会 理事 |
| | 高 野 忠 将 | 上尾医師会 |
| | 須 田 秀 利 | 春日部市医師会 副会長 |
| | 角 田 修 | 熊谷市医師会 理事 |
| | 鳥 山 義 仁 | 北足立郡市医師会 理事 |
| | 岡 田 新 司 | 春日部市医師会 副会長 |
| | 永 沼 卓 | 越谷市医師会 理事 |

任期 令和2年4月1日～令和4年3月31日

○ 診療連絡委員会主催により開催された小児疾患集談会は次のとおりである。

| 開 催 日 | 内 容 | 出席者 |
|--------------------------------------|--|----------------------------|
| 令和2年6月11日 場所：小児医療センター | 1 症例検討 ①感染免疫・アレルギー科 ②血液・腫瘍科 2 基礎講座 新生児マススクリーニングの近況 ～新しい先天代謝異常症のスクリーニング時代～ | 新型コロナウイルスのため 中止 |
| 第 142 回 令和2年9月10日 場所：小児医療センター | 1 症例検討 ①感染免疫・アレルギー科 ②血液・腫瘍科 2 基礎講座 新生児マススクリーニングの近況 ～新しい先天代謝異常症のスクリーニング時代～ | 院外 12人 院内 42人 合計 54人 |
| 第 143 回 令和2年11月26日 場所：小児医療センター | 1 症例検討 ①救急診療科 ②小児外科 2 基礎講座 小児麻酔中の危機的偶発症とシミュレーション トレーニング | 院外 8人 院内 42人 合計 50人 |
| 令和3年3月11日 場所：小児医療センター | 1 基礎講座 腎臓科 2 特別講演 小児在宅の現状と問題点 | 新型コロナウイルスのため 中止 |

○当センター主催により開催された唇顎口蓋裂セミナーは次のとおりである。

| 開催日・場所 | 内 容 | 出席者 |
|--|-----------|----------------|
| 第 13 回 令和 2 年 10 月 15 日 開催形式：Web 開催 (ZOOM) | 症例検討、連絡事項 | Web 参加 16 名 |

○当センター主催の地域連携懇談会は次のとおりである。

| 開催日・場所 | 内 容 | 出席者 |
|---|---|----------------|
| 第 6 回 令和 2 年 3 月 5 日 開催形式：Web 開催 (ZOOM) | オンライン講演会 講演 1 小児医療 最近のトピックから 講演 2 小児肝移植の現状と課題 | Web 参加 90 名 |

7 センター内会議及び委員会

当センターの管理・運営について協議するため設置されている主な会議及びそれぞれ専門的事項を分掌するため常設されている主な委員会は、次のとおりである。

(1) 主なセンター内会議

| 名 称 | 目 的 | 構 成 |
|---------|---------------------------|---------------------|
| 幹 部 会 議 | 運営方針・経営戦略等の検討及びセンターの円滑な運営 | 病院長、事務局長、副病院長、看護部長等 |
| 科 長 会 議 | 診療に関する連絡・調整及び協議 | 病院長、副病院長、各診療科の長 |

(2) 主な委員会

| 名 称 | 目 的 |
|------------|-----------------------------|
| 医療安全管理委員会 | 医療事故及び医療紛争の防止対策の協議 |
| 放射線安全委員会 | 放射性同位元素等の適正な管理・運営 |
| 感染防止委員会 | 感染防止及び公衆衛生管理の徹底 |
| 薬事委員会 | 薬事に関する業務の適性化及び円滑化 |
| DPC委員会 | DPC方式による医療費算定に関する諸問題の研究及び協議 |
| 栄養委員会 | 栄養管理及び給食運営の適正化 |
| 就学委員会 | 入退院児の就学に係る事項について協議 |
| 備品検討委員会 | 備品の適正な選定 |
| 契約業者等選定委員会 | 契約の相手となる業者の適正な選定等 |
| 図書委員会 | 図書の整理及び運営の円滑化 |
| 倫理委員会 | 医療及び医学に関する倫理的審議・検討 |
| 防災委員会 | 防災及び災害拠点病院機能に関する協議・検討 |
| 経営改革推進委員会 | 経営改善に関する協議・検討、業務に関する連絡・協議 |

8 特別支援学校との連携

当センター開院と同時に、隣接して県立岩槻養護学校が開校した。学校は、当センターに入院している腎臓、心臓、整形、血液などの慢性または長期の治療が必要な小・中学生を対象に、一般の小・中学校に準じた教育を行っている。

28年12月に当センターの移転に伴い、新たに県立けやき特別支援学校として開校し、引き続き、相互の連携が円滑に行われるよう日々の連絡を行うほか、次の会議を設置している。

- (1) 教育連絡協議会（病院と学校のそれぞれの年間計画や整備計画及び両者の連携の基本的事項などを審議する。）
- (2) 就学委員会（入退院児の就学に係る事項について協議する。）
- (3) 学校病棟連絡会（行事予定などの情報交換を行い、具体的な連携のあり方を検討する。）
- (4) 生活委員会（子供の指導のあり方を追及するため、指導事例の発表及び意見交換を行う。）
- (5) 医療研修会（医師の指導のもと、特別支援学校職員の医療的理解を深める。）
- (6) 進路指導連絡協議会（中学部卒業後における進学等の協議を行う。）

この他、遠足、修学旅行などの校外活動についても、患児が参加できるよう積極的に協力している。

また、30年7月からは、保健医療部、病院局、教育局の連携による、埼玉県立高校生入院時学習支援が始まり、病気療養中の児童生徒の学びをサポートしている。

9 地域医療教育センター

地域医療教育センターが2017年4月にオープンして4年が経過いたしました。地域医療教育センターは埼玉県総合医局機構に属し、人材育成、チーム医療、地域医療を3本柱として運営しています。小児医療センターの建物8階部分にあり、医療関係者の技能訓練用のシミュレータや蘇生訓練、ケースシナリオで用いるコンピュータ制御の高規格シミュレータ（SimBaby、SimJunior SimMan3G、SimMomなど）まで取り揃えています。この4年間に医師、看護師、薬剤師、助産師、医学生、看護学生など延べ39,400人が地域医療教育センターを利用しました。

施設の利用（シミュレータなど含め）は無料です。県内の医療関係者が主に参加する研修であれば利用可能です。平日は9時～21時まで、土曜・休日も9時～17時まで利用可能です（新型コロナウイルスの影響により変更あり）。地域医療教育センター主催の研修会も随時開催（PALS, PEARS, BLSほか）しています。施設利用方法、施設の空いている日、時間などはホームページ（<http://kobaton-med.jp/>）で確認できます。利用に関する質問は地域医療教育センター職員へお問い合わせ下さい（TEL：048-601-4600）。

（地域医療教育センター センター長 西田 一典）

